

地域包括ケア時代の在宅医療

～人生を支え続ける出前医者の実践から～

超高齢社会に向け、必要性が高まっている「在宅医療」。今回、ご講演いただく太田秀樹先生は「在宅医療」という言葉が知られていない頃から自らを「出前医者」と呼び、実際にその人の暮らしの場に出向いて、さらにその人の人生と向き合う医療と支援を届けてこられました。そして、在宅を支える専門職が、チームとして機能を発揮するシステム作りにも先駆けて取り組んでおられます。

私たちは専門職として、「最期までその人らしく」を当事者とその家族の方々も含め、具体的にどう支援していけばよいのでしょうか。ぜひ、一緒に学び考えましょう。



【講師】太田 秀樹 先生 (医療法人アスムス 理事長)

1953年奈良市生まれ。1979年日本大学医学部卒、日大医学部附属板橋病院麻酔科にて研修医。自治医大学大学院修了後、同大整形外科医局長、専任講師を経て、1992年、在宅医療を旗印に、おやま城北クリニック(栃木県)を開設。現在、機能強化型在宅療養支援診療所として、24時間×365日の在宅ケアサービスを展開し、地域包括ケアシステムの一翼を担う。法人名のアスムスとは、Activity Supporting Medicine Systematic Service (活動を支える医療)の略。当事者の自己実現を医療から支えている。

医学博士。日本整形外科学会認定専門医。麻酔科標榜医。介護支援専門員。日本医師会在宅医療連絡協議会委員、日本在宅医学会監事、全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長、日本在宅ケアアライアンス共同事務局長など。



日時

平成29年 10月7日(土)
14時～16時 (受付開始13時30分～)

会場

宇治市産業会館 3階大会議室
(宇治市宇治琵琶45-13)

対象

医療・介護・福祉にかかわる多職種

* 参加費無料・申込不要です。多数のご参加お待ちしております。

主催：一般社団法人 宇治久世医師会

お問い合わせ先：宇治久世医師会 医療介護連携推進事務局 ☎ 0774-24-1711

